

- ◆ 日時: 2013年9月27日(金) 18:00-19:30 場所: 神奈川大学 23号館 206号室
- ◆ 主催: 防災塾・だるま 司会: 山田(美)さん
- ◆ 談義の会参加者: 会員 29名 一般 5名 計 34名 (敬称略)
 - (会員) 池田、伊東、植山、小原、菊地、森、山口(章)、田中(喜)、山田(美)、長沼、片山、成松、大西、佐藤(毅)、宮川、玉井、樋口、高江洲、佐々木、山田(富)、鈴木、石井(邦)、松井、北原、河野、福島、磯野、小林(英)、小嶋。
 - (一般) 中山、湯浅、濱野、加山、下村。

I. 「防災塾・だるま」活動報告

1. 談義の会第100回を迎えて (池田副塾長)

◇神奈川大学講座受講生が2005年に「地域防災まちづくり談義を楽しむ会」として立上げた「防災まちづくり談義の会」が第100回目を迎え、防災塾・だるま8周年記念講演会を行う。だるま会員も100名を超えた。

今後も地域の防災・減災につながるテーマを取上げ、共に学び・発信する場としていきたい。

◇「防災塾・だるま談義の会100回のあゆみ」も作成中。(リーダー: 佐藤(忠)さん)

2. 第8回「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」(運営委員会リーダー: 伊東さん)

◇いよいよ10/24(木)からスタートする。受講生最終募集中。(定員: 50名 締切: 10/10)

神奈川大学HP掲載: <http://www.ku-portsquare.jp/site/course/detail/695/>

メインテーマ: 地域にいかす「防災・減災の知識・知恵」を学ぶ-2013

期間: 10/24(木)～11/28(木) 毎週木曜日 13:30～17:00 (全6回) 受講費用: 5,000円

会場: KUホースクエア(みなとみらいウイメンズタワー14F) (第5回11/21のみ横浜市民防災センター)

◇第5限目で9/24神奈川新聞でトップ掲載された「発災直後の行動ゲーム J-DAG」訓練を行う。

3. 荏本塾長・黒岩県知事テレビ対談 (池田さん・山口(章)さん)

◇減災をテーマにテレビ神奈川「かながわいのちラボラトリ」で9/1放映。

◇後半では防災塾・だるまの紹介、山口(章)さん(緑区連合会長・だるま会員)インタビューも登場。



II. 定例会報告・活動情報 (定例会司会: 山田(美)さん)

(定例会参加者: 会員 23名 一般 0名 計23名)

定例会論議「震災から学ぶ」(山田(美)さん)

◆今も数多くの関東大震災の史跡が横浜に残る。

「関東大震災を歩く」(9月 山下・山手と南区の2コース)で史跡を巡り、震災被害や復興の説明を聞いて、「震災から学ぶ」大切さを改めて実感。(池田さん・玉井さん)

◆震災から学び、地域の防災・減災にいかしていくこと。
・・・語り部の伝承も重要なテーマ。

9/2戸塚中学校総合防災訓練参加 (宮川さん)

◆校庭への避難訓練に保護者への引渡訓練が加わる新しい取り組みが実施された。反省会では今後の課題について意見交換、什器転倒防止の必要性などをアドバイスした。



(9/24 神奈川新聞)



J-DAG 訓練が神奈川新聞(9/24)トップ掲載 (片山さん)

◆防災塾・だるま主催の「発災直後の行動ゲーム J-DAG」訓練 (9/19 約20名 横浜市民防災センター) が神奈川新聞9/24トップページで「横浜発 減災ゲーム」(考案: 片山さん 監修: 防災塾・だるま)として報道された。地域・学校から反響が来ている。

南区災ボラ運営委員研修会 (白田さん)

◆HUG(避難所運営ゲーム)を実施(9/12、参加19名 講師: 白田さん)、避難所運営を様々な視点から考え話し合う研修会となった。

III. 8周年記念講演会&第100回談義の会（司会：山田(美)さん）

テーマ：「関東大震災直後の小学校～横浜の事例から～」

講師：横浜市史資料室 調査研究員 松本 洋幸 氏

《震災直後 小学校と教職員の行動・貢献》

★地域コミュニティの中核として幅広い役割を担った：

- 教職員たちによる調査、記録。
- 応急対応、傷病者の手当、井戸の消毒など。
- 救援物資の運搬分配、道路整理、夜警、民心対応。

★避難所として：約20校 避難者・罹災者 約6千人。

★授業再開は順次、柔軟に：

- 通学区域に限定せず、再開が可能な丘陵部の学校から順次児童を吸収。（東京：10月初旬一斉再開）
- 当初は野外授業・天幕授業・バラック校舎も。
- 児童の精神ケアや給食の重要性に着目した対応。

★震災の被害を物語る記念品の収集にも努めた。



・震災で大きな被害があった小学校の現場で、教職員は、震災直後から、地域の中核として幅広い役割を担い、行動した。

・そのカギは、教職員たちの柔軟な対応・創意工夫と、市民の逞しさだった。

《横浜市内の公立小学校は甚大な被害を蒙った》

- ・36校のうち19校全焼・15校倒潰・大破。
- ・教室数799室 使用可能は39室のみ。
- ・教職員997名 15名死亡。
- ・児童54,962名 903名死亡（1.6%）。

《参加者感想》

- ・震災直後の混乱の中、柔軟に創意工夫で行動し、地域に貢献した小学校と教職員から、減災と復興の原点を学んだ。
- ・90年前の震災から学ぶことが如何に多いかを再認識した。地域の取組みにいかしていきたい。



IV. 今後の予定

1. 平成25年10月例会 10月25日(金) 場所：神奈川大学 1号館 301号室

だるま定例会 15:30～17:30

第101回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30

話題：「風水害・特別警報について」

講師：気象庁 横浜地方気象台 防災管理官 伊藤 徹 氏

(役員会：10/8(火) 資料準備：10/22(火) 10-12時 851 荏本研究室)

2. 平成25年11月例会 11月29日(金) 場所：神奈川大学 1号館 301号室

だるま定例会 15:30～17:30

第102回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30

話題：「被災者が語る関東大震災～新聞記者の体験記から～」

講師：横浜開港資料館 調査研究員 吉田 律人 氏

(役員会：11/12(火) 資料準備：11/26(火) 10-12時 851 荏本研究室)

3. 平成25年12月例会 12月20日(金) 時間・会場：年末のため調整中。

話題：地震・津波等

講師：横浜地方気象台

(役員会：12/3(火) 資料準備：12/17(火) 10-12時 851 荏本研究室)

《参考情報》

1. 関東大震災 90 周年関連～横浜開催～

《セミナー・講演会》

- (1) 日本地震学会・海洋研究開発機構 特別セミナー「神奈川・横浜の備え－関東大震災から90年－」
10/6(日) 13:30-16:30 会場：はまぎんホール ヴィアマーレ（桜木町駅5分）
定員：500名(先着順) 無料 http://www.jamstec.go.jp/j/pr/event/img/seminar_20131006.pdf
(講演1)「神奈川の関東大震災」(名古屋大学 武村雅之氏)
(講演2)「先端科学技術がせまる首都圏直下地震と南海トラフ地震」(海洋研究開発機構 金田義行氏)
(パネリスト)「神奈川の地震・津波災害への備え」 進行：小平秀一氏(海洋研究開発機構)
パネリスト：加藤照之氏(地震学会長) 里村幹夫氏(神奈川温泉地学研究所長)
武村雅之氏(名古屋大学教授) 立花正人氏(横浜市危機管理監)
- (2) 記念講演会「横浜の関東大震災を歩く：90年前の記憶をたどって」
11/2(土) 14:00-16:00 講師：武村雅之氏(名古屋大学減災連携研究センター教授)
会場：日本丸訓練センター・横浜みなと博物館(桜木町駅5分、みなとみらい線馬車道駅5分)
定員：100名 参加費：500円 申込み：往復はがき(締切：10/23)
問合せ：横浜みなと博物館「講演会係」(TEL：045-221-0280)
<http://www.nippon-maru.or.jp/port-museum/exhibition.html>

《展示》

- (1) 「関東大震災と横浜：廃墟から復興まで」
7/13(土)～10/14(月・祝) 横浜市都市発展記念館(みなとみらい線日本大通り駅0分、関内駅10分)
入館料：一般300円 <http://www.tohatsu.city.yokohama.jp/index3.html>
- (2) 「被災者が語る関東大震災」
7/13(土)～10/14(月・祝) 横浜開港資料館(みなとみらい線日本大通り駅2分、関内駅15分)
入館料：一般200円 <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/news/>
- (3) 「レンズがとらえた震災復興 1923-1929」
7/13(土)～10/14(月・祝) 横浜市史資料室(市中央図書館B1)(京急日ノ出町駅5分、桜木町駅10分)
無料 <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/pdf/tenji130713.pdf>
- (4) パネル展示「東日本大震災における歴史資料の救援活動」
8/1(木)～10/4(金) 場所：横浜市歴史博物館エントランスホール(市営地下鉄センター北駅5分) 無料
- (5) 「横浜港と関東大震災－震災からの復興－」
9/28(土)～11/17(日) 横浜みなと博物館(桜木町駅5分、みなとみらい線馬車道駅5分)
入館料：一般200円 <http://www.nippon-maru.or.jp/port-museum/exhibition.html>

2. その他のセミナー・防災活動情報

(1) 神奈川大学連続講演会「未曾有の歴史的地震活動期に入った 21 世紀日本?!」

全 8 回 (10/12・19・26 11/9・16・23・30 12/7 の土曜日 14:00～16:00)

場所: 神奈川大学横浜キャンパス 11 号館 先着 80 名 無料 問合せ: 045-682-5554

申込み: 9/3～9/27 <http://www.ku-portsquare.jp/site/course/detail/722/>

(2) 横浜市総務局危機管理室

「横浜市防災計画（風水害・都市災害・火山災害）修正に対する市民意見募集」

募集期間: 平成 25 年 10 月 1 日(火)～10 月 31 日(木)

問合せ: 横浜市総務局危機管理室危機対処計画課 電話: 045-671-4096

主な修正内容、意見提出方法について:

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/h25keikakusyusei/bousaikeikaku25pamphlet.pdf>

3. 参考資料

(1) 「竜巻」対策について 気象庁 HP 参照

(2) 阪神淡路大震災の神戸市の小中高等の被災状況（神戸市教育委員会）

(防災塾・だるま 池田 記)